

食生活変化に関する全国調査の実施と解析

研究分担者：森崎菜穂（所属 国立成育医療研究センター 社会医学研究部）

研究要旨

本分担研究では、令和2年度に実施した「新型コロナウイルス感染症流行期前後における親子の食事と健康に関する実態調査」に回答した小6・中3の児童がいる1519世帯の追跡調査を実施し、また令和2年度に実施した調査と連結し、コロナ流行の遷延化による食生活を含む子どもと家庭の状況の変化を解析した。

1519世帯中1107世帯（73%）より回答を得た。2020年12月より肉・野菜を毎日1回以上摂取する児の割合は上昇し、テイクアウト（コンビニ・スーパー・デリバリーなどで購入した食事。惣菜・弁当・おにぎり・サンドイッチ・ハンバーガー・ピザ・菓子パンなど）やお菓子（スナック菓子、菓子パン、アイスクリーム、ケーキ、クッキー、飴など）、炭酸・ジュースなど甘い飲み物を週4以上摂取している割合は2020年12月と比べて低下し、いずれも改善を認めた。一方で、インスタント食品（カップ麺、レトルト食品など）を週4以上摂取している割合2020年12月から改善を認めていなかった。また、朝ごはん、夜ご飯をいつも一人で食べるというこどもの割合は、それぞれ小6で14%と2.8%、中3で34%と5.5%であった。また、別財源で実施された小5、中1、中2の調査結果と合わせると、朝ごはん、夜ご飯をいつも一人で食べるというこどもの割合は、小5－中3ではそれぞれ23%（95%信頼区間 21-25）、3.9%（95%信頼区間 3.1-4.8）、91%（95%信頼区間 89-92）であった。

また、2021年度の調査の解析から、インスタント食品を週5日以上摂取している群では、摂取頻度が5日未満の群と比べて、たんぱく質、食物繊維、ビタミンA、葉酸、ビタミンC、カルシウム、鉄、マグネシウム、カリウム、リンの摂取量が低く、朝倉らによる基準で規定された栄養素摂取不適切（inadequate nutrient intake）であるリスクが3倍（リスク比 3.0 [95% 信頼区間: 1.6-5.6]）、栄養素摂取過剰（excess nutrient intake）であるリスクが2.3倍（リスク比 2.3 [95% 信頼区間: 1.3-4.2]）であった。

以上より、新型コロナウイルス感染症流行により、特に2020年の4-5月の全国一斉休校時に見られたバランスの良い食事（肉・野菜を毎日2回以上）を摂取している児の割合の低下は2020年12月に回復し2021年12月にも維持されていた一方で、インスタント食品などについては2021年12月時点においても利用率が上昇していることがわかった。

A. 研究目的

今般の新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）情勢により強いられた家庭内環境

や学校生活の変化により子どもの健康状態が悪化している可能性が申請者の全国調査等で指摘されている。また、子どもの食生活

支援を行っている子ども食堂やフードバンクなどからは、一部の児童においてはバランスの良い食事をとることが困難となり生活の基本である衣食住が脅かされるまでに至っており、栄養格差が広まっている可能性が報告されている。子どもの食生活は家庭環境に大きく影響されるため、コロナ情勢に伴う保護者の就労状況の変化、うつ傾向の悪化、親子関係の悪化などの社会経済的状況等の変化が、栄養格差拡大の要因となっている可能性がある。しかし、どのような背景因子が栄養格差の拡大に大きく貢献しているのか、また、必要としている支援内容がこれらの背景因子でどのように異なっているのかは明らかになっていない。

研究代表者らは、令和2年度に「新型コロナウイルス感染症流行期前後における親子の食事と健康に関する実態調査」を全国小5・中2の児童およびその家庭に実施し、子どもの栄養・食生活の状況の変化及びそれを規定する社会経済的要因を報告した。

今年度は本調査の追跡を実施し、コロナ流行の遷延化による食生活を含む子どもと家庭の状況の変化を解析した。また、朝ごはん、夜ご飯をいつも一人で食べるという子どもの割合について、別財源（JST-SICORP、成育医療研究開発費）にて同時期に小5、中1、中2の児童およびその家庭に実施された調査結果を活用して、小5ー中3における実態を把握した。

さらに、新型コロナウイルス感染症流行に伴い、児童のいる家庭での食事内容は変化し、特にインスタント食品やテイクアウト食品の摂取率の上昇が懸念されていることを踏まえ、インスタント食品やテイクアウト食品の摂取率が子どもの習慣的栄養素摂取量に影響を与えている影響を調べた。

B. 方法

令和2年度「新型コロナウイルス感染症流行期前後における親子の食事と健康に関する実態調査」には、全国8地域ブロックからそれぞれ無作為に選ばれた6-7自治体の計50自治体それぞれにおいて、小5および中2の児童がいる家庭30世帯ずつを抽出し、調査への回答を依頼した。結果、回答を得られた小6・中3の児童がいる1552世帯のうち、継続調査の実施について本人および自治体から拒否がなかった1519世帯に対して、食品群別の摂取頻度、体格、および朝ごはん、夜ご飯をいつも一人で食べるかについて、調査を実施した。

また、同時期に別財源（JST-SICORP、成育医療研究開発費）にて、小6および中3に実施した調査と同じ自治体に住む小5、中1、中2の児童およびその家庭について、各学年20名ずつにも同じ調査票で調査を実施したため、これらの調査票の中の食に関する項目についても、解析を行った。

解析方法としては、まず粗集計を行ったのち、食品群別の摂取頻度および食に関する子どもの指標（「朝ごはんはいつも一人で食べる。」「夕ご飯はいつも一人で食べる。」「朝・昼・夜三食必ず食べるように気を付けている。」のそれぞれに「はい」と回答した割合）については、調査対象者の選定方法を加味した重みづけを行い、全国人口の推定値を算出した。

さらに、令和2年度「新型コロナウイルス感染症流行期前後における親子の食事と健康に関する実態調査」にてインスタント食品・冷凍食品・テイクアウト食品の摂取頻度と簡易型自記式食事歴法質問票（BDHQ）から算出される習慣的栄養素摂取量を比較した。ここでは、インスタント食品・冷凍食品・テイクアウト食品の摂取頻度と、食事におい

て各栄養素の摂取基準を満たしている割合、および包括的な栄養素摂取状況との関連を調べた。なお、包括的な栄養素摂取状況の評価には、朝倉らが開発した、食事摂取基準（DRI）値を満たす栄養素数によって摂取適切群（推定平均必要量（EAR）を12以上の栄養素で満たし、目標量（DG）を4以上の栄養素で満たす）、過剰群（EAR： ≥ 12 、DG： ≤ 3 ）、欠乏群（EAR： ≤ 11 、DG： ≥ 4 ）、摂取不適切群（EAR： ≤ 11 、DG： ≤ 3 ）の4群に分類する方法を用いた。(1)

C. 結果

1. 令和2、3年度調査の粗集計

令和2年度調査および令和3年度調査の集計結果を別添1に示す。

令和2年度と比較して、令和3年度調査では、保護者票の回答者が父親である割合が5%から11%に上昇し、回答者の年齢層も最多集団が「35-44歳」（53%）から「45-54歳」（50%）に上昇していた。家族（父、母、祖父母、兄弟姉妹、親戚他）との同居率は変化していなかった。

現在の家庭の暮らし（経済状況）については、令和2年度は32%が「大変苦しい/苦しい」と回答していたが、令和2、3年度の双方に回答した家庭では30%であり、令和3年度の回答（29%）とほぼ同じであった。現在の家庭の暮らし（経済状況）が2年前（コロナ前）と比べていかがかという質問には、令和2年度は27%が「今の方が苦しい」と回答しており、令和2、3年度の双方に回答した家庭に限定しても割合は同じであった（27%）。令和3年度には、22%が「今の方が苦しい」と回答していた。

「過去1年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。」という質問には、令和2年度は

10%が「よくあった」「ときどきあった」と回答しており、令和2、3年度の双方に回答した家庭に限定しても割合は同じであった（10%）。令和3年度には、4%が「よくあった」「ときどきあった」と回答していた。

97%が「この1か月ほぼ毎日登校した」と回答したが、3%は「給食がない日が多かった」と回答した。

2. コロナ流行の遷延化による食生活を含む子どもと家庭の状況の変化

令和2年度および令和3年度の両調査に参加した家庭の回答から算出した、各種食品群の摂取率の推移を別添2に示す。

まず、小6および中3（令和2年度は小5および中2）の縦断分析からは、2020年12月より肉・野菜を毎日1回以上摂取する児の割合は上昇し小5で93.1%、中2で90.2%となり、テイクアウト（コンビニ・スーパー・デリバリーなどで購入した食事。惣菜・弁当・おにぎり・サンドイッチ・ハンバーガー・ピザ・菓子パンなど）（小5 2.0%、中2 2.5%）やお菓子（スナック菓子、菓子パン、アイスクリーム、ケーキ、クッキー、飴など）（小5 64.7%、中2 60.3%）、炭酸・ジュースなど甘い飲みもの（小5 21.2% 中2 23.1%）を週4以上摂取している割合も2020年12月と比べて低下し、いずれも改善を認めた。一方で、インスタント食品を週4以上摂取している割合は2020年12月から改善を認めていなかった。

また、今年度別財源で小5および中2（令和2年度は小4および中1）に実施された同調査の結果と比較しても、やはり肉・野菜を毎日1回以上摂取する児の割合は上昇し、テイクアウトやお菓子、炭酸・ジュースを週4以上摂取している割合は2020年12月と比べて低下している一方で、インスタント

食品を週4以上摂取している割合は2020年12月から改善を認めておらず、インスタント食品の摂取率の増加は児童の年齢増によるものではないことが示唆された。

3. 朝ごはん、夜ご飯をいつも一人で食べるというこどもの割合

本研究および今年度別財源で小5、中1および中2に実施された調査において、児童本人に「朝ごはんはいつも一人で食べる。」「夕ご飯はいつも一人で食べる。」「朝・昼・夜三食必ず食べるように気を付けている。」のそれぞれに「はい」と回答した割合を、95%信頼区間を付けて表1に示す。

「食事をいつも一人で摂取する」と回答した割合は全体では朝食で23%（95%信頼区間21-25）、夕食で3.9%（95%信頼区間3.1-4.8）と朝食の方が高く、これはどの学年でも同じで傾向がみられた。学年別にみると、学年が上がるほど「朝食をいつも一人で食べる」と回答した割合は増加し、小5の12%と比べて中3では34%と大幅に増えていた。夕食においても同様に学年が上がるほど割合は増加し小5では2.6%に対して中3では5.5%であった。

「朝・昼・夜三食必ず食べるように気を付けている。」と回答した割合はどの学年でも89-92%であった。

表1

	朝ごはんはいつも一人で食べる。	夕ご飯はいつも一人で食べる。	朝・昼・夜三食必ず食べるように気を付けている。
	% (95%信頼区間)		
小5	12% (9, 16)	2.6%	92% (88, 95)

		(1.4, 4.8)	
小6	14% (12, 18)	2.8% (1.1, 6.5)	91% (88, 94)
中1	25% (21, 29)	4.2% (2.4, 7.3)	92% (88, 95)
中2	31% (26, 37)	4.4% (2.6, 7.2)	89% (85, 92)
中3	34% (29, 39)	5.5% (4.1, 7.3)	89% (84, 92)
計	23% (21, 25)	3.9% (3.1, 4.8)	91% (89, 92)

4. インスタント食品・冷凍食品・テイクアウト食品の摂取頻度と栄養素摂取量について

インスタント食品・冷凍食品・テイクアウト食品を週5日以上摂取すると回答した群と、週4日未満の摂取と回答した群における、習慣的栄養素摂取量の比較を別添3に示す。

インスタント食品を週5日以上摂取している群では、摂取頻度が5日未満の群と比べて、たんぱく質、食物繊維、ビタミンA、葉酸、ビタミンC、カルシウム、鉄、マグネシウム、カリウム、リンの摂取量が低く、朝倉らによる基準で規定された栄養素摂取不適切 (inadequate nutrient intake) であるリスクが3倍 (リスク比 3.0 [95% 信頼区間: 1.6-5.6])、栄養素摂取過剰 (excess nutrient intake) であるリスクが2.3倍 (リスク比 2.3 [95% 信頼区間: 1.3-

4. 2])であった。

また、テイクアウト食品を週 5 日以上摂取している群では、摂取頻度が 5 日未満の群と比べて、たんぱく質、食物繊維、葉酸、ビタミンC、カルシウム、鉄、マグネシウム、カリウム、リンの摂取量が低く、朝倉らによる基準で規定された栄養素摂取不適切 (inadequate nutrient intake) であるリスクが 2.1 倍 (リスク比 2.1 [95% 信頼区間: 1.3-3.3])、であった。冷凍食品の摂取頻度が週 5 日以上と 5 日未満の群では、栄養素摂取不適切であるリスクや栄養素摂取過多であるリスクに差は見られなかった。

D. 考察

2021 年度の追跡調査では、新型コロナウイルス感染症流行により、特に 2020 年の 4-5 月の全国一斉休校時に見られたバランスの良い食事 (肉・野菜を毎日 2 回以上) を摂取している児の割合の低下は 2020 年 12 月に回復し 2021 年 12 月にも維持されていた。また、テイクアウト食品やお菓子、炭酸・ジュースなど甘い飲み物の摂取率も 2020 年 12 月と比べて改善していた。一方で、インスタント食品などについては 2021 年 12 月時点においても利用率が新型コロナウイルス感染症流行前よりも上昇していることがわかった。さらに、インスタント食品を摂取する頻度が高い児童では、一部の栄養素が不足しやすいこと、また総合的に見た栄養バランスが悪くなるリスクがみられた。新型コロナウイルス感染症流行により、家庭の経済面などを含めて生活環境が変わった児童も少なくないと思われ、今後も留意が必要である。

E. 結論

2020 年度に実施した全国調査の追跡調査

を実施し、肉と野菜の摂取頻度から見た栄養バランスは改善しているが、一部の加工食品 (インスタント食品など) については、まだ使用頻度が高いまま維持されていることが分かった。また、インスタント食品やテイクアウト食品の摂取率が高いと、こどもの栄養摂取バランスにも影響が出る可能性が示唆された。

これらの長期的栄養には今後留意していく必要がある。

【参考文献】

1. Asakura, K.; Sasaki, S. School lunches in Japan: Their contribution to healthier nutrient intake among elementary-school and junior high-school children. *Public Health Nutr.* 2017, 20, 1523-1533.
2. Rahman N, Ishitsuka K, Piedvache A, Tanaka H, Murayama N, Morisaki N. Convenience Food Options and Adequacy of Nutrient Intake among School Children during the COVID-19 Pandemic. *Nutrients.* 2022; 14(3):630.

F. 健康危機情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

Rahman N, Ishitsuka K, Piedvache A, Tanaka H, Murayama N, Morisaki N. Convenience Food Options and Adequacy of Nutrient Intake among School Children during the COVID-19 Pandemic. *Nutrients.* 2022; 14(3):630.

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

別添 1 2020 年度調査 保護者票の集計

問 1 あなたはお子さまの食事を主に用意されている方ですか。(あてはまる番号 1 つに○)

はい	97%
いいえ	3%

問 2 お子さまから見たあなたの続き柄は次のどれですか。(あてはまる番号 1 つに○)

母親	94%
父親	5%
祖母	0%
祖父	0%
兄弟姉妹	0%
その他	0%

問 3 あなたの年齢はいくつですか。(あてはまる番号 1 つに○)

24 歳以下	0%
25-34 歳	5%
35-44 歳	53%
45-54 歳	41%
55-64 歳	1%
65 歳以上	0%

問 4 お宅さまで、お子さまと家計をともしている方をすべてお知らせください。
(単身赴任の方など、現在同居なさっていない方も含めてお答えください。)

お子さまの母親	93%
お子さまの父親	88%
お子さまの祖父母	13%
お子さまの兄弟姉妹	83%
お子さまの親戚・その他	2%

問 5 緊急事態措置期間(2020 年 4 月 16 日~5 月 13 日)についてお答えください。

お子さまは学校に登校されましたか(オンライン授業など、家庭で学習した場合は含まないでください)。
(あてはまる番号 1 つに○)

休校・オンライン授業だったため(ほとんど)登校しなかった	91%
開校していたが、コロナのために(ほとんど)登校を自粛した	1%
別の理由で(ほとんど)登校しなかった	1%
ほぼ毎日登校した	7%

問 6 お子さまの給食状況についてお伺いします。分散登校、短縮授業などのため給食が提供されない期間・簡易給食が提供された期間はありましたか。(あてはまる番号すべてに○) あった場合はその期間も教えてください。

登校再開後は例年通りに給食が提供された	60%
登校再開後も給食が提供されない期間があった	20
簡易給食の期間があった	12%
もともと給食はない(弁当持参、学食利用等)、登校していない	11%

問7 お子さまの現在のおおよその体格を教えてください。(数値を記入)

(平均) 小5 身長 142.6cm 体重 36.4kg
 中2 身長 159.4cm 体重 50.6kg

ここからは、ご家庭でのお子さまの食事について伺います。

問8 この1ヶ月を思い返してください。

ご家庭で、お子さまは次の食品を少なくとも1日に1回は食べていましたか。

1日に1回は食べているものすべてに○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

乳製品(牛乳、ヨーグルト、チーズなど)	77%
肉、魚、卵	97%
野菜	92%
果物	40%
いずれも、毎日食べていない	2%

問9 緊急事態措置期間(2020年4月16日~5月13日)を思い出してください。

ご家庭で、お子さまは次の食品を1日に2回は食べていましたか。1日に2回は食べていたものすべて

に○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

乳製品(牛乳、ヨーグルト、チーズなど)	45%
肉、魚、卵	81%
野菜	73%
果物	14%
いずれも、毎日食べていない	12%

問10 昨年(2019年12月)を思い出してください。ご家庭で、お子さまが少なくとも1日に1回は食べていたものに○をつけてください。(あてはまる番号すべてに○)

乳製品(牛乳、ヨーグルト、チーズなど)	74%
肉、魚、卵	96%
野菜	90%
果物	35%
いずれも、毎日食べていない	3%

問11 昨年(2019年12月)と比べて、お子さまの食事について変わったこととして、あてはまるものをすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

間食(おやつ)の機会や量が増えた	31%
欠食(朝昼夜のいずれかの食事を抜くこと)が増えた	7%
食事をとる時刻が不規則になった	11%
間食が増えたため食事量が減った	4%
いずれにもあてはまらない	61%

問12 昨年(2019年12月)と比べて、お子さまの食事について変わったこととして、あてはまるものをすべて選んでください。(あてはまる番号すべてに○)

食事をつくる時間の余裕が少なくなった	15%
食事をつくる時間の余裕が増えた	13%
食事をつくる心の余裕が少なくなった	17%
食事をつくる心の余裕が増えた	9%
食材や食事を選んで買う経済的余裕が少なくなった	15%
いずれもあてはまらない	55%

問13、問14は現在と以前の食事についてお聞きします。

この1ヶ月、緊急事態措置期間(2020年4月16日～5月13日)、昨年(2019年)12月のそれぞれにつ

問13 お子さまが、ご家庭で、下記の食べ物や飲み物を口にすることは、週に何日ありますか。(それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	この1ヶ月				緊急事態措置期間(2020年4月16日～5月13日)				昨年12月(2019年12月)			
	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	ほとんどない	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	ほとんどない	ほとんど毎日	週に4～5回	週に2～3回	ほとんどない
インスタント食品(カップ麺、レトルト食品など)	0%	1%	18%	81%	1%	6%	43%	50%	0%	0%	16%	83%
冷凍食品	1%	3%	31%	65%	2%	10%	46%	42%	1%	3%	30%	66%
コンビニ・スーパー・デリバリーなどで購入した食事(惣菜・弁当・おにぎり・サンドイッチ・ハンバーガー・ピザ・菓子パンなど)	1%	3%	38%	58%	2%	8%	49%	41%	1%	2%	35%	62%
お菓子(スナック菓子、菓子パン、アイスクリーム、ケーキ、クッキー、飴など)	43%	21%	28%	7%	51%	22%	21%	6%	40%	22%	29%	8%
炭酸飲料・ジュースなど 甘い飲み物	13%	10%	29%	49%	16%	14%	30%	40%	12%	10%	29%	49%

問14 あなたのお子さまが、朝食、昼食、夕食それぞれの食事で、主食、主菜、副菜の3つを組み合わせることは、週に何日ありますか。

(それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	この1ヶ月				緊急事態措置期間(2020年4月16日～5月13日)				昨年12月(2019年12月)			
	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんどない	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんどない	ほとんど毎日	週に4～5日	週に2～3日	ほとんどない
朝食	26%	10%	20%	44%	25%	11%	20%	44%	26%	10%	21%	43%
昼食 ※給食があるときは、給食を1回と数えてください。	59%	35%	4%	2%	34%	21%	26%	18%	58%	34%	5%	3%
夕食	78%	14%	6%	2%	75%	15%	8%	2%	78%	14%	6%	2%

問15 以下の項目について、それぞれあなたのお考え・お気持ちにもっともあてはまると思う選択肢をお選びください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	そう思う	ややそう思う	言えない どちらとも	あまり そう思わない	全く そう思わない
5つ以上の生の食材を用いて、子どもの食事を一食分作ることは、難しい	20%	25%	14%	25%	16%
子どものために、栄養バランスがとれた食事を作ることは、難しい	14%	30%	15%	29%	13%
子どものために、主食・主菜・副菜がそろった食事を用意することは、惣菜を利用しても難しい	5%	13%	16%	41%	26%
子どもの成長のために、栄養バランスがとれた食事は重要だ	87%	9%	1%	0%	3%

	全く わからない	少しわかる	言えない どちらとも	だいたい わかる	よくわかる
栄養バランスがとれた食事とはどのような食事か、わかる	1%	20%	6%	50%	22%
主食、主菜、副菜とは、それぞれどのような料理か、わかる	1%	17%	3%	49%	30%

	全くない	たまに そうしている	ときどき そうしている	たいてい そうしている	いつも そうしている
値段が高いことを理由に、野菜・果物などを買う量を減らすことはある	10%	32%	32%	19%	7%
子どもの食事について、主食・主菜・副菜をそろえて食べさせようと思う	1%	7%	16%	55%	20%
子どもの食事の準備をする際は、その前後の食事で何を食べたか、あるいは食べる予定かを考慮している	8%	15%	22%	39%	16%

問16 現在の家庭の暮らし（経済状況）について、一番近いものをお知らせください。(あてはまる番号1つに○)

大変苦しい	8%
やや苦しい	24%
ふつう	54%
ややゆとりがある	11%
大変ゆとりがある	2%
答えたくない	1%

問17 現在の家庭の暮らし（経済状況）は、2019年12月時点と比べて、いかがですか。(あてはまる番号1つに○)

今の方が苦しい	27%
変わらない	67%
今の方が楽	4%
わからない・答えたくない	2%

問18 ご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由で、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(あてはまる番号1つに○)

よくあった	2%
ときどきあった	8%
まれにあった	15%
全くなかった	75%

問19 緊急事態措置期間(2020年4月16日~5月13日)に、以下の食物の入手しやすさは、それまでと比べて変わりましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	な し 入 手 し や す く な っ た	か っ た 変 わ ら な い	な し 入 手 し や す く な っ た
生鮮食品	2%	4%	3%
インスタント食品	86%	60%	88%
コンビニ・スーパー・デリバリーなどで購入した食事 (惣菜・弁当・おにぎり・サンドイッチ・ハンバーガー・ピザ・菓子パンなど)	12%	36%	9%

問20 ここ1年、あなたは、「子ども食堂」を利用したいと思ったことはありましたか。(あてはまる番号全てに○)

「子ども食堂」が近所がない、あるいはよく知らない	77%
「子ども食堂」が近所にあると知っているが、使いたいと思ったことはない	20%
「子ども食堂」を使ったことがある	3%
(使いたいと思った際に、)開いてなくて利用できなかったことがある	1%
5 (使いたいと思った際に、)その他の理由で利用できなかったことがある	2%

問21 お子さまのお母さまが最後に卒業した学校は次のどれですか。(あてはまる番号1つに○)

中学校	3%
高等学校	28%
専門学校	21%
短期大学	23%
大学・大学院	23%
母親はいない・わからない・答えたくない	1%

問22 お子さまのお父さまが最後に卒業した学校は次のどれですか。(あてはまる番号1つに○)

中学校	5%
高等学校	32%
専門学校	14%
短期大学	2%
大学・大学院	41%
父親はいない・わからない・答えたくない	6%

問23 あなたのご家族の過去1年間の年間収入（勤労収入、自営業等の事業収入、農業収入、不動産収入、利子・配当金、ボーナス、年金を含め、税込）に一番近いものはどれですか。家計を一緒にしている方全員の収入を合算して、お答えください。（あてはまる番号1つに○）

100万円未満	1%
100万円～200万円未満	4%
200万円～300万円未満	5%
300万円～400万円未満	8%
400万円～500万円未満	12%
500万円～600万円未満	11%
600万円～700万円未満	10%
700万円～800万円未満	10%
800万円～1,000万円未満	12%
1,000万円以上	12%
答えたくない	14%

問24 あなたとお子さまのかかわりについてお聞きします。過去1ヶ月の間に次のことはどの程度ありましたでしょうか。（あてはまる番号1つに○）

	い 全 く し て い な	い 少 し だ け し て	い と き ど き し て	い た い て い し て	し つ つ も し て い た
なるべく、何でも子どもに分かる言葉で説明するように心がけている	1%	6%	13%	51%	29%
子どもが表現した気持ちに、「そうだね、～の気持ちがしたんだね」などと、気持ちを否定せずに共感する機会を作っていた	2%	11%	28%	44%	15%
子どものこれからのこと（学校や生活のことなど）について、家族で一緒に話し合うようにしていた	2%	12%	26%	39%	21%

問25 この1ヶ月間に、あなたやご家族のおとなが、お子さまに対して、次のようなことをしたことがありますか。（あてはまる番号1つに○）

	はい	いいえ	答えたくない
ア) たたいた	8%	91%	1%
イ) ののしったり、おどしたりした	12%	87%	1%
ウ) 感情的に怒鳴った	45%	54%	1%

問26 上の問25のア・イ・ウの頻度は、2020年1月時点と比べて、全体的に増えましたか、減りましたか。（あてはまる番号1つに○）

とても増えた	1%
少し増えた	11%
変わらない	59%
少し減った	5%
とても減った	3%
以前も、今も、問25のア・イ・ウのようなことはない	21%
答えたくない	1%

問27 あなたについてお聞きします。過去1ヶ月の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。
 (それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	あてはまる いつも	あてはまる たいてい	あてはまる ときどき	あてはまる 少しだけ	ない 全くあてはまら
1) 神経過敏に 感じましたか	41%	26%	22%	7%	4%
2) 絶望的だと 感じましたか	68%	17%	11%	3%	1%
3) そわそわしたり、落ち着きなく 感じましたか	65%	20%	11%	2%	1%
4) 気分が沈み込んで、何が起っても気が晴れないように感じましたか	49%	26%	18%	4%	3%
5) 何をするのも 骨折りだと 感じましたか	53%	26%	16%	4%	1%
6) 自分は価値のない人間だと感じましたか	66%	19%	10%	3%	2%
7) あなた自身の セルフケアや ストレス対処の 方法を 大事に していましたか	11%	22%	23%	25%	18%
8) 近いと感じる人・信頼できる人と、望む程度の連絡をとっていましたか	22%	30%	20%	17%	11%

別添 1 2020 年度調査 こども票の集計

問 1 あなたは男の子ですか、女の子ですか？（あてはまる番号 1 つに○）

男	48%
女	51%
答えたくない	1%

問 2 あなたは学校がある日はいつも朝ごはんを食べますか？（あてはまる番号 1 つに○）

いつも食べない	5%
食べない日が多い（週 1-2 日食べる）	3%
食べる日が多い（週 3-4 日食べる）	5%
いつも食べる（週に 5 日）	86%
答えたくない	0%
学校に行っていない	1%

問 3 朝ごはんを食べないとき、その理由は何ですか？（あてはまる番号すべてに○）

いつも食べないから	0%
用意されていないから	1%
おなかが空いてないから	9%
時間がないから	15%
ほかの理由	2%
答えたくない	1%
朝ごはんを食べなかったことはない（いつも食べている）	75%

緊急事態宣言が出ていた期間（2020 年 4 月 16 日から 5 月 13 日）を思い出して、問 4 から問 7 をお答えください。

問 4 このあいだ、お昼ごはんを主にどうしていましたか？（あてはまる番号 1 つに○）

家にいたけれど食べなかった	1%
家で食べた（ひとりで食べた）	19%
家で食べた（家族と食べた）	73%
給食・弁当などを学校で食べていた	5%
その他・答えたくない	2%

問 5 このあいだ、お昼ごはんは、毎日食べていましたか？（あてはまる番号 1 つに○）

いつも食べなかった	3%
食べない日が多かった（週 1～3 日食べた）	1%
食べる日が多かった（週 4～6 日食べた）	9%
いつも食べた（週に 7 日食べた）	86%
答えたくない	0%

問 6 お昼ごはんを食べないとき、その理由は何でしたか？（あてはまる番号すべてに○）

用意されていないから	1%
一緒に食べるひとがないから	0%
朝ごはんを食べるのが遅く、まだお腹がすいていないから	12%
お菓子など間食したから、まだお腹がすいていないから	5%
ほかの理由	3%
答えたくない	0%
お昼ごはんを食べなかったことはない（いつも食べていた）	82%

別添 1 2020 年度調査 こども票の集計



副菜(ふくさい)

野菜(やさい)、いも、海藻(かいそう)、きのこを使った料理(りょうり)や味噌汁(みそじる)、スープなどの汁物(しるもの)です。



主菜(しゅさい)

魚(さかな)、肉(にく)、卵(たまご)、豆製品(まめせいひん)、乳製品(にゅうせいひん)を使った料理(りょうり)などです。

主食(しゅしょく)

ごはん、パン、シリアル、めん類(るい)などです。



* 果物(くだもの)、牛乳(ぎゅうにゅう)やジュースなどの飲み物、お菓子(菓子パン)は、主食、主菜、副菜には含まれません。



上の絵を参考にお答えください。

あなたのおうちの食事の内容についておうかがいします。

問7 この期間、お昼ごはんには、主にどのようなものが入っていましたか。食卓に並んでいても、残したものは食べたものには入れません。最もあてはまるものを選んで下さい。(あてはまる番号1つに○)

主食だけ	15%
主菜だけ	1%
副菜だけ	0%
主食と主菜のりょうほう	25%
主食、主菜、副菜のいずれも	10%
その他 (お昼は食べないことが多い、	47%
果物のみ、飲み物のみ、お菓子のみ、など)	1%

問8 今の生活を考えてください。コロナによって、いろいろな生活の変化があると思います。コロナによる生活の変化について、あなたの家族や学校の先生はどうしていますか？(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

別添 1 2020 年度調査 こども票の集計

コロナによる <u>おうちでの生活</u> の変化について、家族は…	全くしてくれない	まったくしてくれない	少ししてくれない	ときどきしてくれる	たいいていしてくれる	いつもしてくる
私の考えを話せるように、質問したり確かめたりしてくれる	5%	4%	22%	33%	36%	
考えや気持ちを伝えたとき、それを取り入れようとしてくれる	3%	4%	20%	34%	40%	

コロナによる <u>学校での生活</u> の変化について、先生たちは…	全くしてくれない	まったくしてくれない	少ししてくれない	ときどきしてくれる	たいいていしてくれる	いつもしてくる
私の考えを話せるように、質問したり確かめたりしてくれる	5%	5%	26%	32%	32%	
考えや気持ちを伝えたとき、それを取り入れようとしてくれる	3%	5%	24%	33%	34%	

問9 この2週間、次のような問題にどのくらい頻繁に悩まされていますか？あなたの気持ちにもっとも近いものを選んでください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	全くない	数日	半分以上	ほぼ毎日
物事に対してほとんど興味がない、または楽しめない	75%	18%	5%	2%
気分が落ち込む、憂うつになる、または絶望的な気持ちになる	72%	21%	4%	2%
寝付きが悪い、途中で目がさめる、または逆に眠り過ぎる	62%	25%	7%	6%
疲れた感じがする、または気力がない	56%	32%	7%	5%
あまり食欲がない、または食べ過ぎる	72%	18%	6%	4%
自分はダメな人間だ、人生の敗北者だと気に病む、または自分自身あるいは家族に申し訳がないと感じる	78%	14%	4%	4%
新聞を読む、またはテレビを見ることなどに集中することが難しい	85%	9%	4%	2%
他人が気づくぐらいに動きや話し方が遅くなる、あるいは反対に、そわそわしたり、落ちつかず、ふだんよりも動き回ることがある	86%	10%	3%	2%

別添2 2021年度調査 保護者票の集計

問1 お子さまから見たあなたの続柄は次のどれですか。(〇は1つだけ)

母親	89%
父親	11%
祖母	0%
祖父	0%
兄弟姉妹	0%
その他	0%

問2 あなたの年齢はいくつですか。(〇は1つだけ)

24歳以下	0%
25-34歳	3%
35-44歳	45%
45-54歳	50%
55-64歳	1%
65歳以上	0%

問3 お宅さまで、お子さまと家計をともにしている方をすべてお知らせください。(単身赴任の方など、現在同居なさっていない方も含めてお答えください。)

お子さまの母親	90%
お子さまの父親	87%
お子さまの祖父母	11%
お子さまの兄弟姉妹	74%
お子さまの親戚・その他	2%

問4 お子さまのお母さま・お父さまの就労状況について、教えてください。非常勤やパートタイム、アルバイトも仕事に含みます。(〇はそれぞれ1つずつ)

母親について		父親について	
仕事をしている	85%	仕事をしている	91%
仕事をしていない	14%	仕事をしていない	1%
母親はいない	1%	父親はいない	8%
わからない・答えたくない	0%	わからない・答えたくない	0%

問5 この1ヶ月間、お子さまは学校に登校されましたか(オンライン授業など、家庭で学習した場合は含めません)。(〇は1つだけ)

休校・オンライン授業だったため(ほとんど)登校しなかった	0%
開校していたが、コロナのために(ほとんど)登校を自粛した	0%
別の理由で(ほとんど)登校しなかった	2%
ほぼ毎日登校した(給食はあった)	95%
ほぼ毎日登校した(給食はない日が多かった)	3%

別添2 2021年度調査 保護者票の集計

問6 お子さまの現在のおおよその体格を教えてください。(数値を記入)

(平均) 小6 身長 149.6cm 体重 41.4kg
 中3 身長 160.9cm 体重 52.5kg

問7 この1ヶ月間、お子さまは、ご家庭で次の食品を少なくとも1日に1回は食べていましたか。1日に1回は食べていたものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

乳製品(牛乳、ヨーグルト、チーズなど)	77%
肉、魚、卵	97%
野菜	93%
果物	42%
いずれも、毎日食べていない	1%

問8 この1ヶ月間、お子さまが、ご家庭で下記の食べものや飲みものを口にすることは、週に何日ありましたか。(○はそれぞれ1つつ)

	毎日 ほとんど	4 〜 5 週に 回	2 〜 3 週に 回	ない ほとんど
インスタント食品(カップ麺、レトルト食品など)	0%	1%	28%	70%
冷凍食品	2%	4%	35%	59%
コンビニ・スーパー・デリバリーなどで購入した食事 (惣菜・弁当・おにぎり・サンドイッチ・ハンバーガー・ピザなど)	0%	2%	35%	63%
お菓子 (スナック菓子、菓子パン、アイスクリーム、ケーキ、クッキー、飴など)	0%	2%	35%	63%
甘い飲み物(炭酸飲料、ジュースなど)	39%	24%	30%	7%

問9 現在の家庭の暮らし(経済状況)について、一番近いものをお知らせください。(○は1つだけ)

大変苦しい	7%
やや苦しい	22%
ふつう	54%
ややゆとりがある	14%
大変ゆとりがある	2%
答えたくない	1%

問10 現在の家庭の暮らし(経済状況)は、2年前(コロナ前)と比べて、いかがですか。(○は1つだけ)

今の方が苦しい	22%
変わらない	72%
今の方が楽	4%

別添2 2021年度調査 保護者票の集計

わからない・答えたくない	2%
--------------	----

問11 ご家庭では、過去1年の間に、経済的な理由で、家庭が必要とする食料を買えないことがありましたか？（あてはまる番号1つに○）

よくあった	1%
ときどきあった	3%
まれにあった	10%
全くなかった	85%

問12 あなたの世帯の過去1年間の年間収入（勤労収入、自営業等の事業収入、農業収入、不動産収入、利子・配当金、ボーナス、年金を含め、税込）に一番近いものはどれですか。家計を一緒にしている方全員の収入を合算して、お答えください。（○は1つだけ）

100万円未満	1%
100万円～200万円未満	4%
200万円～300万円未満	5%
300万円～400万円未満	7%
400万円～500万円未満	10%
500万円～600万円未満	12%
600万円～700万円未満	11%
700万円～800万円未満	11%
800万円～1,000万円未満	13%
1,000万円以上	14%
答えたくない	11%

別添2 2021年度こども票の集計

問1 それぞれの項目は、あなたにあてはまりますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

	はい	いいえ
朝ごはんはいつも一人で食べる。	22%	78%
夕ごはんはいつも一人で食べる。	3%	97%
朝・昼・夕三食必ず食べるように気をつけている。	91%	9%

問2 あなたは、最近の7日間に、1日あたり少なくとも合計60分間の身体活動をした日は、何日ありましたか。それぞれの日に、あなたが身体活動に費やすすべての時間を合計して下さい。(〇は1つだけ)
(身体活動とは、心臓がドキドキしたり息切れしたりするようなすべての活動のことです。スポーツや友達と遊ぶこと、学校に徒歩で通うことも入ります。例として、ランニング、はや歩き、ローラースケート、自転車、ダンス、スケートボード、水泳、サッカー、バスケットボールなどがあります。)

0日	8%
1日	7%
2日	11%
3日	16%
4日	12%
5日	20%
6日	9%
7日	18%

別添2 2021年度子ども票の集計

		2019.12	緊急事態宣言中	2020.12	2021.12
肉・野菜を毎日1回摂取	小5	88.5%	68.1%	91.0%	93.1%
	中2	88.6%	69.8%	91.1%	90.2%
インスタント 週4以上	小5	0.6%	0.7%	0.6%	1.2%
	中2	0.5%	0.9%	0.7%	2.5%
冷凍食品 週4以上	小5	1.2%	10.9%	1.5%	2.1%
	中2	6.1%	13.4%	6.9%	9.9%
テイクアウト惣菜週4以上	小5	2.5%	9.7%	3.1%	2.0%
	中2	4.1%	10.4%	4.3%	2.5%
お菓子 週4以上	小5	65.4%	75.2%	67.6%	64.7%
	中2	59.6%	71.0%	61.5%	60.3%
炭酸・ジュース 週4以上	小5	20.8%	27.5%	20.6%	21.2%
	中2	24.5%	32.9%	24.3%	23.1%

		2019.12	緊急事態宣言中	2020.12	2021.12 1学年下（現小 5, 中2）の回答
肉・野菜を毎日1回摂取	小5	88.5%	68.1%	91.0%	89.7%
	中2	88.6%	69.8%	91.1%	93.7%
インスタント 週4以上	小5	0.6%	0.7%	0.6%	1.0%
	中2	0.5%	0.9%	0.7%	1.8%
冷凍食品 週4以上	小5	1.2%	10.9%	1.5%	2.5%
	中2	6.1%	13.4%	6.9%	7.2%
テイクアウト惣菜週4以上	小5	2.5%	9.7%	3.1%	2.1%
	中2	4.1%	10.4%	4.3%	2.1%
お菓子 週4以上	小5	65.4%	75.2%	67.6%	65.4%
	中2	59.6%	71.0%	61.5%	57.2%
炭酸・ジュース 週4以上	小5	20.8%	27.5%	20.6%	20.9%
	中2	24.5%	32.9%	24.3%	23.2%

別添 3 インスタント食品・冷凍食品・テイクアウト食品の摂取頻度と習慣的栄養摂取量との関連

	Food Group											
	インスタント食品				冷凍食品				テイクアウト			
	週 5 日以上		週 4 日以下		週 5 日以上		週 4 日以下		週 5 日以上		週 4 日以下	
	N = 133		N = 533		N = 230		N = 430		N = 271		N = 392	
	Median (IQR)	Median (IQR)	<i>p</i>	<i>p</i> *	Median (IQR)	Median (IQR)	<i>p</i>	<i>p</i> *	Median (IQR)	Median (IQR)	<i>p</i>	<i>p</i> *
穀類 (g/1000kcal)	206.7 (82.6)	201.2 (82.9)			203.9 (84.8)	201.1 (82.9)			204.8 (84.3)	200.9 (81.7)		
イモ類 (g/1000kcal)	17.8 (16.8)	13.7 (14.2)	**	**	16.7 (15.5)	13.7 (14.2)	*		14.5 (14.6)	14.9 (15.3)		
砂糖・甘味料 (g/1000kcal)	1.0 (1.0)	1.4 (1.2)	**	**	1.2 (1.1)	1.4 (1.2)			1.2 (1.1)	1.4 (1.2)	*	*
ナッツ類及び豆類 (g/1,000kcal)	16.6 (21.3)	20.7 (21.6)			19.3 (20.4)	20.1 (23.2)		*	18.2 (21.0)	20.8 (23.4)	*	*
魚 (g/1000kcal)	24.7 (18.0)	25.0 (20.4)			24.6 (17.6)	25.2 (20.8)			24.6 (20.9)	25.1 (19.3)		
乳製品 (g/1000kcal)	120.2 (114.8)	140.9 (128.9)	**	*	128.2 (127.4)	140.7 (122.7)			132.1 (135.9)	139.4 (119.8)		
油 (g/1000kcal)	6.5 (3.3)	6.5 (3.3)			6.6 (3.0)	6.6 (3.4)			6.5 (3.1)	6.5 (3.4)		
菓子類 (g/1,000kcal)	23.8 (22.5)	25.3 (23.9)			25.6 (23.8)	24.8 (23.4)			26.6 (25.7)	23.6 (22.6)		*
調味料 (g/1,000kcal)	123.6 (80.1)	123.0 (68.8)			123.2 (58.6)	123.5 (79.0)			121.7 (62.6)	123.7 (75.9)		
野菜・果物 (g/1000kcal)	131.5 (73.4)	157.9 (91.5)	***	**	147.7 (94.0)	156.7 (93.0)			142.9 (85.9)	159.8 (92.1)	**	**
お茶 (g/1,000kcal)	173.9 (197.2)	192.1 (229.5)			183.1 (201.1)	191.1 (233.1)			174.7 (203.8)	201.6 (229.6)		
肉・卵 (g/1000kcal)	53.3 (28.3)	57.3 (28.1)			53.7 (26.4)	57.5 (29.5)		*	55.4 (29.2)	56.6 (27.4)		
野菜・果物ジュース (g/1000kcal)	6.3 (17.9)	6.7 (17.2)			7.2 (26.4)	6.3 (16.1)			6.9 (25.2)	6.2 (15.1)		
ソーダ (g/1000kcal)	31.4 (53.9)	10.2 (34.4)	***	**	14.7 (45.1)	10.6 (37.3)	*		19.1 (47.3)	9.6 (32.2)	***	**

別添3 インスタント食品・冷凍食品・テイクアウト食品の摂取頻度と習慣的栄養摂取量との関連

	Food Group											
	インスタント食品				冷凍食品				テイクアウト			
	週5日以上		週4日以下		週5日以上		週4日以下		週5日以上		週4日以下	
	N = 133		N = 533		N = 230		N = 430		N = 271		N = 392	
	Median (IQR)	Median (IQR)	<i>p</i>	<i>p</i> *	Median (IQR)	Median (IQR)	<i>p</i>	<i>p</i> *	Median (IQR)	Median (IQR)	<i>p</i>	<i>p</i> *
たんぱく質 (g/1000kcal)	34.1 (7.3)	36.3 (8.0)	**		35.4 (7.5)	36.4 (8.0)	**		35.6 (8.3)	36.3 (7.7)	*	*
食物繊維 (g/1000kcal)	5.2 (1.5)	5.5 (1.9)	**	*	5.2 (1.5)	5.5 (2.0)			5.2 (1.6)	5.6 (1.9)	***	***
n-3 系多価不飽和脂肪酸 (g/1000kcal)	1.2 (0.4)	1.2 (0.4)			1.2 (0.4)	1.2 (0.4)			1.2 (0.4)	1.2 (0.4)		
飽和脂肪酸 (g/1000kcal)	11.1 (3.7)	11.6 (3.8)	*		11.6 (3.9)	11.5 (3.8)			11.5 (4.0)	11.6 (3.7)		
ビタミンA (μg/1000kcal)	254.5 (136.5)	315.9 (174.1)	***	**	288.1 (174.4)	315.6 (167.1)			287.9 (181.8)	314.4 (159.7)	*	
葉酸 (μg/1000kcal)	140.7 (53.4)	158.6 (62.5)	***	**	152.3 (55.0)	156.8 (63.4)			148.7 (58.1)	158.8 (65.2)	**	**
ビタミンC (mg/1000kcal)	50.0 (22.1)	53.4 (25.8)	**	*	52.5 (24.9)	52.1 (25.4)			51.0 (23.5)	53.9 (26.9)	*	*
ビタミンD (μg/1000kcal)	4.4 (2.7)	4.6 (3.1)			4.4 (2.8)	4.6 (3.0)			4.4 (3.0)	4.6 (2.9)		
カルシウム (mg/1000kcal)	323.9 (130.6)	365.0 (166.0)	***	**	336.7 (177.2)	367.1 (160.7)	*		338.4 (163.4)	370.3 (160.1)	**	*
鉄 (mg/1000kcal)	3.5 (0.8)	3.8 (1.1)	***	*	3.6 (0.8)	3.7 (1.2)			3.6 (1.0)	3.8 (1.1)	*	**
マグネシウム (mg/1000kcal)	112.6 (23.1)	123.5 (28.6)	***	***	119.8 (24.4)	123.1 (29.9)	*	*	118.4 (26.8)	124.1 (28.8)	***	***
リン (mg/1000kcal)	550.2 (136.3)	590.3 (149.5)	***	**	569.9 (147.6)	591.2 (147.7)	*		567.9 (155.6)	591.4 (156.4)	***	**
カリウム (mg/1000kcal)	1105.5 (285.7)	1221.2 (355.2)	***	**	1163.4 (335.2)	1223.2 (357.6)			1167.7 (329.8)	1225.8 (359.2)	***	***
ナトリウム (mg/1000kcal)	5.5 (1.3)	5.4 (1.4)			5.4 (1.3)	5.5 (1.4)			5.4 (1.3)	5.5 (1.4)		

栄養素

別添3 インスタント食品・冷凍食品・テイクアウト食品の摂取頻度と習慣的栄養摂取量との関連

IQR: interquartile range.

p -values were derived from a Wilcoxon rank sum test: * $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, *** $p < 0.001$.

p^* are p -values from linear regression model using gender, grade, and income: * $p < 0.05$, ** $p < 0.01$, *** $p < 0.001$.

文献2より転載

別添3 インスタント食品・冷凍食品・テイクアウト食品の摂取頻度と習慣的栄養摂取量との関連

		Relative Risk (CI 95%)			
		摂取適切群	摂取過剰群	欠乏群	摂取不適切群
Instant Food (<i>n</i> = 666)	Crude (excluding missing income)	1.00	2.3 (1.3, 4.2) **	2.7 (0.7, 11.1)	3.0 (1.6, 5.6) **
	Adjusted (gender + grade + income)	1.00	2.2 (1.2, 4.0) **	3.0 (0.7, 12.5)	2.4 (1.2, 4.5) **
Frozen Food (<i>n</i> = 660)	Crude (excluding missing income)	1.00	1.3 (0.9, 2.0)	1.6 (0.5, 5.4)	1.4 (0.8, 2.2)
	Adjusted (gender + grade + income)	1.00	1.3 (0.9, 2.0)	1.6 (0.5, 5.5)	1.4 (0.8, 2.2)
Take-Out Food (<i>n</i> = 663)	Crude (excluding missing income)	1.00	1.2 (0.8, 1.8)	0.7 (0.2, 2.7)	2.1 (1.3, 3.3) **
	Adjusted (gender + grade + income)	1.00	1.2 (0.8, 1.8)	0.7 (0.2, 2.7)	1.8 (1.1, 2.9) *

* $p < 0.05$, ** $p < 0.01$.

文献2より転載